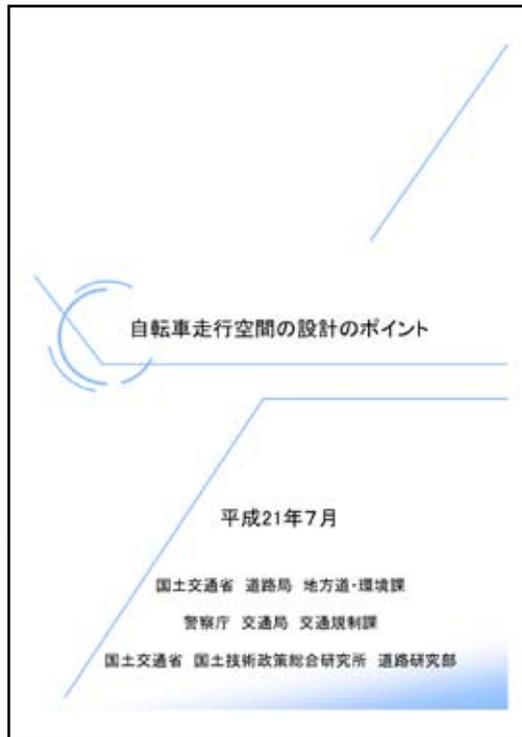




発行 2009年8月1日(毎月1日)
 特定非営利活動法人自転車活用推進研究会
 〒166-0011 東京都杉並区梅里2-6-3
 電話080-3918-2932
 Fax 03-6316-9170
<http://cyclists.jp>

特集 国交省 警察庁 「自転車道設計ポイント」 のちょっと納得し難い部分と評価すべきポイント

国土交通省と警察庁は、平成21年7月24日、全国の道路管理者及び都道府県警察に向け、「事務連絡」として「自転車走行空間の設計のポイント」(以下、「設計ポイント」)を配布した。両省庁はこれまで、自転車利用環境の整備を推進するため、「自転車利用環境整備ガイドブック(平成19年10月)」、「自転車施策推進に係る地方説明会における疑義と回答事例集(平成20年11月)」を配布したが、今回は幹線道路における自転車走行空間の設計を行う際の参考資料として示したものだ。政府の道路政策には様々な議論があるが、自転車道路についてはここ数年、本格的な検討が始まったばかりで、それまでは昭和40年代に行われた指針の検討に基づいて実験的に造られてきたに過ぎない。現在、全国98カ所で行われている自転車モデル道についても、名古屋市の伏見通りのように、何を目的としたのか理解に苦しむような例もあり、ガイドブックに示された設計例の真意が現場に伝わっていないという批判があった。今回の「設計のポイント」が正しく現場に反映されるかどうか注目していきたい。



られる新たな知見等により、適宜見直しを行う」と、発展途上の研究成果であることを認めつつ、とにかく早く具体的な例を示さなければ各地でとんちんかんな道が出来る実情に対応しようとしており、この点は評価したい。また、わざわざ「警察庁と協議済みであり、警察庁から各都道府県警察宛に送付されていることを申し添えます。」と冒頭に書かれているのは、地元の警察が、いまだに自動車優先の交通規制の考え方にたって、自転車を歩道通行させようとしたり、自転車道やレーンへの違法駐車を黙認する姿勢がみられるところから、警察側を説得しやすいようにする意図があると推察される。

●位置づけ

この資料は、平成19年に国交省と警察庁が初めて共同で設置した歴史的な委員会「新たな自転車利用環境のあり方を考える懇談会」の議論を踏まえて作成される三つ目の資料になる。自転車通行環境整備モデル地区の整備やその他自転車利用環境の整備に当たっては、三つの資料を併用して活用することになっている。但し書きがたくさんついていて、本資料が「整備パターンの考え方や留意点を示しているものであることに留意し、現場の設計への適用に当たっては、現場毎に異なる道路状況、交通状況等をよく勘案した設計を行うとともに、道路管理者と都道府県警察で調整を図りながら、適切な道路整備及び交通規制の実施を検討」することになっている。正確で公正な表現にこだわる官僚言葉なので、わかりにくい、つまり、設計例は示すけれども現場に応じてうまくやってね、と言っている。しかし、二年前に示されたガイドブックの場合には、いくつかの整備例がイラストで紹介されたなかで、一番先に紹介されたものをいくつかの自治体が具体化し、懇談会の議論では、車道左端を車両として安全に通行できる環境整備を目指したはずが、物理的区分と称して、ハンドルやペダルが引っかかって事故を招きかねない自転車道が生まれ、車道車線を削減したのに、その部分をわざわざ歩道にしたうえで通行帯を造るというあきれた設計が行われた。

そうした反省のうえにたっているためか、「本資料は現時点の知見に基づくものであり、今後、モデル地区での取組等により得

●画期的な一方通行への誘導

具体的に、設計の例がどのような順序で示されたかは後段で懸念材料についても詳述するが、まず高く評価できるポイントを紹介しよう。

「設計ポイント」では、自転車道は「道路に車道から緑色線・柵等の工作物により物理的に分離された自転車専用の走行空間を設け、自転車交通と自動車交通、歩行者通行との分離を図る」としており、道幅は2.0m以上(やむを得ない場合は1.5mまで縮小できる。)としている。自転車道を造ると、原則として自転車道を通行しなければならない。(歩道、車道は通行できない。)し、道路の片側のみに自転車道を設置した場合であっても、当該自転車道を通行しなければならない。(自転車道が設置されていない側を通行することはできない。)ことになる。つまり、自転車道は独立した道路であり、そのため相互通行になる、と言うのがこれまでの解釈だった。今回「設計ポイント」には、「自転車道内では、一方通行規制のない限り、対面通行となる。」という文言が入った。自転車道は対面通行が原則であることに変わりはない。だが、一方通行の規制が可能であるということを明記したのである。自転車は車両として左側通行と言い続けてきたNPO自活研の意見が取り入れられている。しかも、この文言についても、国交省・警察庁の間で協議され、はっきりと合意を取り付けた上で記載したことが確認されている。

自転車が自転車らしく走る日は来るか

自転車道交差点部Aパターン（「設計ポイント」より）

●現行法では限界があることを認める

「設計のポイント」には他にもこれまでにない大胆な記述がある。たとえば、自転車道であることを明示するための留意点として、「自転車や歩行者を誘導するため、補助的に**法定外の案内表示・看板を設置することも有効**であり、検討することが望ましい」とある。これまで、路面に矢印を描くことは法定外とされ、金沢市などの例は「前例としない」と言われてきたが、今回、検討することが望ましいとされたことで、一般市民にもわかりやすい表示が可能となった。自転車道が一方通行になり、それがわかりやすいように路面に矢印などで示されれば、危険な逆送は確実に減るはずである。この点も高く評価できる。

さらに、柵等を設置する場合、自転車利用者の手や足が接触してけがをすることがないように配慮することや、側溝、街渠、集水ますの設置などにおいては、自転車の安全通行が確保できるように、舗装面の平坦性を確保することが望ましい、と、自転車利用者の視点で考えていることも評価に値する。こうした当然のことがこれまで指摘されてこなかったことがひしぎなくらいだ。問題は、こうした発信側の意図がはたして現場に伝わるかどうか、である。

●自転車レーン

いわゆる自転車レーンは自転車専用通行帯のことである。車道の一部なので当然のことながらクルマと同じ左側一方通行だ。どのように指定するかというと、公安委員会が自転車専用通行帯の交通規制を実施し道路標示及び道路標識を設置することにより、自転車走行空間の明確化を図る、ということで、やはり警察が決めることになり、安全第一主義というか、危なそうなことは一切やらないという警察の体質のためになかなかハードルが高い。

レーンの幅は1.0m以上。車両通行帯の幅員は3.0m以上(やむを得ない場合1.0m以上3.0m未満)なので、車道全体としては片側4メートル、往復8メートル必要になる。

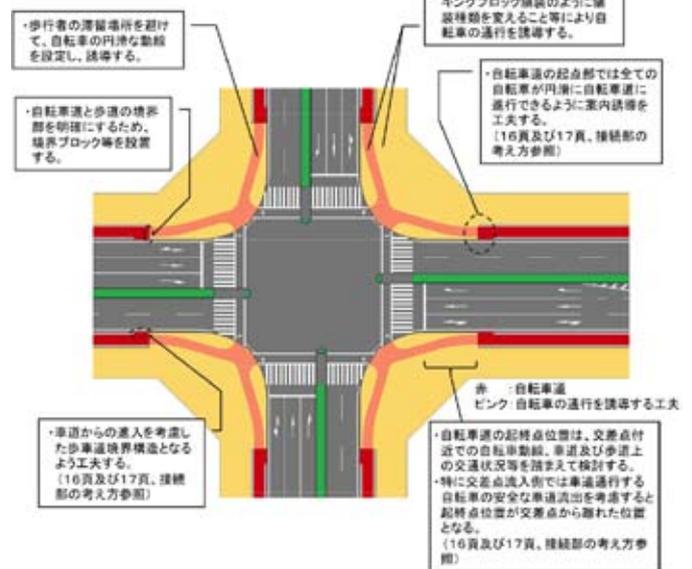
車道上では、自転車専用通行帯内を通行しなければならないが、自転車専用通行帯の規制と歩道における普通自転車歩道通行可の規制は同時に実施できるので、車道が危険な場合は歩道に逃げることができる。ドライバー教育が行き届くまでは、ありがたい逃げ道だが、歩道上の歩行者は危険にさらされる。歩道通行時は「徐行」であることを決して忘れていただきたい。

自転車レーンは、最近、水色のカラー舗装が増えてきているが、「設計ポイント」では、「青色系を推奨しているが、統一した色は定められていないため、地域特性に応じて決定してもよい」としている。ブルーレーンは北欧の都市にも多いが、仙台市がレーンに「楽天カラー」を使ったため、これに配慮したらしい。

●どうする？交差点

単路の設計はいろいろ問題があるにせよ、すこしずつ利用者の視点を取り入れられるようになってきているが、交差点はあいかわらずクルマ優先思想から抜け出せていない。努力の跡は強く感じるが、交通規制の考え方を「人優先」に切り替えることができないのは、警察側が根拠となるデータを求めているからのようだ。欧米のように、市町村単位で警察が設置され、さまざまな地域の実情に応じた試みが行われていれば、どちらがどのような場合に有効かといったデータは採取できる。しかし、日本では交通規制に幅がなく、たとえば幹線道路で車道の左端を走る自転車と、歩道を走る自転車のどちらが安全快適かを客観的に判断できるデータがない。一般にアンケートすれば、車道の危険は衆目の一致するところであるため、歩道と車道のどちらを走るか？という問いには「歩道」が圧倒的となる。この結果をもって「国民は歩道を自転車で走りたがっている」と結論してきたのが現状だ。

自転車を歩道通行させることを前提とした自転車道の交差点部の設計ポイント「Aパターン」(右上図)をみてほしい。



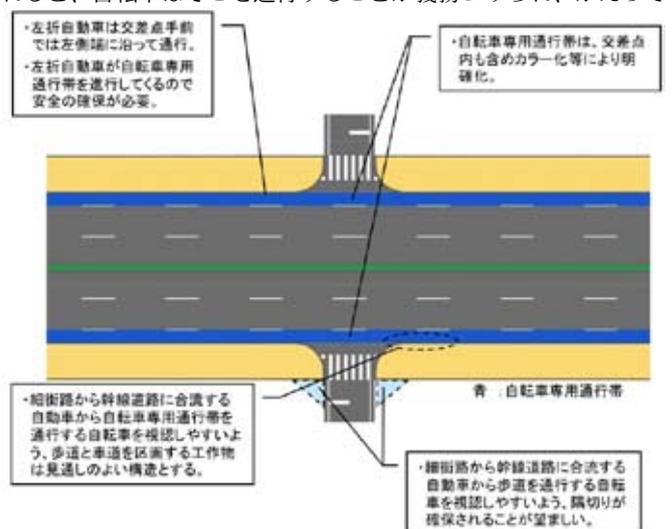
●実現したら何が起きるのか

高齢社会が本格化し、歩道を安全に歩ける環境を整えることが喫緊の課題であるはずだが、この複雑怪奇な導線は、まじめに検討されたものとは思えない。まさか、こんなものを実際に造って国民が「安全になりました。ありがとうございます」と喜ぶと思っているのだろうか。確かに、クルマをスムーズに通行させる設計かも知れないが、そのためになにを犠牲にしているのかを考えてもらいたい。犠牲になっているのは、弱者優先思想という基本理念であり、それに奉仕するはずの公僕としての存在理由そのものだ。このパターンが採用されることはない信じたい。

自転車事故の多くが交差点部で起きていることは事実である。こぎ出すときの苦労を回避するために、停止しない利用者も多い。最近ではプロであるはずの自転車メッセンジャーまでが、赤信号を平気で無視している。だからといって自転車道を走ってきたものを、交差点に近くなったら歩道上上げて、歩行者や他のと錯綜させるのは、新たな事故を誘発することでしかない。

●よりマシなパターンが後半に示される不思議

示されたパターンのなかには是非造ってほしいと思うものもある。自転車レーンを幹線道路に造り、細街路と交差する場合のパターンJ(下図)である。すでに栃木県宇都宮市で一部設置されているパターンだ。この場合、横断歩道に自転車横断帯が設置されると、自転車はそこを通行することが義務づけられ、かえって



自転車左折すると勘違いしたドライバーによる巻き込み事故を誘発させかねない。

●無意味で危険な横断帯の廃止を

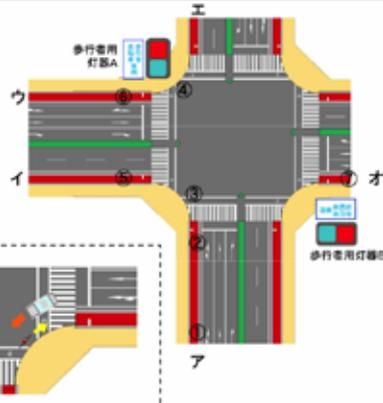
横断歩道脇に設置される自転車横断帯がある場合には、自転車はそこを通行しなければならない。車道を走ってきた自転車は、交差点で横断帯があればそこを、なければそのまま直進することになっている。これは、横断歩道は押し歩きと解釈されていた時代に、非現実的だとして乗ったまま渡ることが出来るようにしたものである。しかし、歩道であるからには「徐行」である。つまり、自転車らしい速度で車道を走ってきた自転車は横断帯に遭遇したとたん、そこを徐行しなければならないというのが現行法の定めである。このため「設計ポイント」でも、下記のような奇怪な通行方法の説明がされている。説明するまでもなく、歩行者用信号に従うことを前提としており、自転車を車両でなく、歩行者並みとしていることがわかる。これでは急増し社会問題化している対歩行者事故は減らない。ルールを複雑にすれば、理解する人は少なくなり、結局守ることが出来なくなることは過去を振り返ればわかることだ。歩行者と自転車に関するルールを、いかに簡潔で常識的かつ合理的なものとするかは、これからの高齢社会に欠かせない議論である。

時代後れのルールの制約のなかで精一杯の知恵と工夫が盛り込まれた「設計ポイント」だが、今後、苦勞してまとめた人たちの真意を現場に伝える必要がある。内部文書としては異例だが、最終ページに意見を述べた4人の学者の名前が掲げられており、その半数がNPO自活研のメンバーである。この方々には、整備を計画している全国の自治体に出向いて、「真意」を説明し、安全で快適な自転車走行空間の創出にご尽力いただけるものと確信している。お名前を紹介しておくことにしよう。赤羽弘和千葉工業大学工学部教授、久保田尚埼玉大学大学院理工学研究科教授、古倉宗治株式会社住信基礎研究所研究理事、屋井鉄雄東京工業大学大学院総合理工学研究科教授。【小林成基】

交差点の通行方法(パターンCの場合)

下図中「ア」から各方向に進行する場合の通行方法は以下のとおり。
なお、図中の歩行者用灯器A・Bは、歩行者自転車専用の意味を表示している。

ア→イ	①から進行し、②の停止線の位置で歩行者用灯器Aに従う。青なら⑤へ進行する。
ア→ウ	①から進行し、②の停止線の位置で歩行者用灯器Aに従う。青なら④へ進行し、従う灯器なしに、⑥へ進行する。
ア→エ	①から進行し、②の停止線の位置で歩行者用灯器Aに従う。青なら④へ進行する。
ア→オ	①から進行し、②の停止線の位置で歩行者用灯器Aに従う。青なら③へ進行する。 ③の位置で歩行者用灯器Bに従う。青なら⑦へ進行する。 ^{注)}



留意点
○ 隅角部で自転車道を連続させた場合(右図)でも、通行方法はパターンCと同一である。
○ このため、この場合も、①から進行する自転車が②の停止線の位置で正面の歩行者用灯器に従う通行方法を周知徹底する必要がある。

サイクルスクエア北参道スタート

(財)日本自転車普及協会が来年1月17日までの期限内で開設したサイクルスクエア北参道では、NPO自転車活用推進研究会が協力して「自転車市民権セミナー」(原則として月1-2回、金曜夜2時間、予約制・無料)と、「自転車トークライブ」(原則として日曜午後3時から1時間/無料)の二つの定期イベントを開催する。既に、7月26日にはNPO自活研の内海潤理事がトークライブを行い、居合わせた観客の熱気に押されて40分もオーバーしたほどの好評を博した。8/7夜にはCOP15エコサイクリングの仕掛け人・デンマーク大使館のイェンセン商務官を招き、自活研理事の絹代さんととのトークセミナーが開催される。

■自転車市民権セミナーの予定(敬称略)

(2) 9月4日(金) 18:30・鈴木美緒/工学博士・東工大

新進気鋭の国土・都市計画、環境交通工学の専門家。Googleアースと現地の取材写真を駆使して、自転車レーンか、ただの線かドイツとフランス、北欧の自転車走行空間からわかること(仮題)をテーマにスリリングな発見のバーチャルツアーに出発。

(3) 9月18日(金) 18:30・石井雅史/北京パラリンピック金メダリスト 藤沢市スポーツ振興財団非常勤職員。北京で1kmTT(CP4)、1分8秒771の世界新記録。日本人選手として同大会最初のコメダル獲得。人生と自転車を語ってくれます。

(4) 10月9日(金) 18:30・未定

(5) 10月30日(金) 18:30・なぎら健壺/フォークシンガー
自転車DO!会長 歌って演技して本も書くというマルチな才能もさることながら東京・下町の庶民文化への造詣の深さ、自転車、カメラに関してもまさに玄人。ちゃんと乗れよ!と教えてくれるうえ、自転車議連にも走行空間整備を申し入れた行動派。

(6) 11月13日(金) 18:30・未定

(7) 12月4日(金) 18:30・未定

(8) 12月16または17日(水・木) 18:30・増田明美/元オリンピック・マラソン選手 スポーツジャーナリスト

13年間の現役生活で日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という名選手。84年のロス五輪で無念の途中棄権。栄光と挫折を味わった人だからこそ厳しく、そして温かいスポーツ解説が聞く人の胸に響く。走る側からみた自転車の功罪を容赦なく糾弾。

(9) 12月25日(金) 18:30・未定

(10) 2010年1月15日(金) 18:30・未定

いずれもMCは原則として絹代さん。現在、交渉中のゲストは鶴見辰吾さん、疋田智さん、片山右京さん、小泉二ロさん他です。

■自転車トークライブの予定(敬称略)

(2) 8月16日(日) 15:00・絹代

(3) 8月23日(日) 15:00・小泉二ロ

(4) 9月13日(日) 15:00・未定

(5) 10月4日(日) 15:00・未定

(6) 10月11日(日) 15:00・未定

(7) 25日(日) 15:00・未定

(8) 11月8日(日) 15:00・未定

(9) 11月22日(日) 15:00・未定

(10) 12月6日(日) 15:00・未定

(11) 12月13日(日) 15:00・未定

(12) 2010年1月10日(日) 15:00・未定

■お詫びとお知らせ

残された事務局の能力不足のため機関誌の編集発行が遅れました。また、リニューアル・スタートを予定している新生自転車検定も数カ月遅れます。深くお詫びするとともに、今後ともご指導ご協力をお願い申し上げます。<あらかさんのイラストは編集部都合で依頼が間に合わずお休みです>

●月刊自転車DO!ではみなさまからの情報、ご意見、素朴な疑問など、記事のネタをお待ちしています。

佐藤宜秀の天網恢々

このコーナーは会員の佐藤宜秀さんがネットサーフィンで見つけた自転車関連の記事のリンク先をリスト化しています。【ご注意】天網恢々疎にして漏らさずという言葉がありますが、ご紹介したリンク先は漏れている場合や短期間で削除されてしまう場合があります。紙面でご紹介するのは編集部で取捨選択した一部です。情報メルマガをご希望の方は下記にアクセスして登録してください。

http://groups.yahoo.co.jp/group/bicycle_news/

【エコ通勤：マイカーやめ自転車徒歩で…政府が後押し】 http://mainichi.jp/select/today/news/20090725k0000e040049000c.html?link_id=RTH05

国交省・環境省のエコ通勤促進制度の具体例の紹介。

【三洋、「エネルギーバイク」2車種 - カーボンフレーム車と折り畳みタイプ】

<http://journal.mycm.co.jp/news/2009/07/24/047/?rt=na>

http://www.tv-tokyo.co.jp/wbs/news/n1_38.html

【電動アシスト自転車普及に伴う課題（高額化・高速化）への取組】

http://www.tv-tokyo.co.jp/wbs/news/n2_41.html

【楽しむための自転車学 2009年秋空前の「自転車ブーム」】

<http://open.gakushuin.ac.jp/course/detail/2009/B/085/>

学習院生涯学習センターでツーキニスト足田智の講座。9/25から全4回。

【バリの隠れスポットへ！自転車で行くバリ観光（日本語ガイドツアー）】

<http://www.alan1.net/jp/europe/france/sg/2440/ag/10893>

電動アシスト自転車で3～4時間サイクリングで有名どころと穴場を回るガイドツアー。45ユーロ（約6千円）。映画の予告編のような紹介映像もあり。

<http://www.parischarmssecrets.com/video/video.jp.html>

【3人乗り自転車：新型続々】

<http://mainichi.jp/life/housing/news/20090731ddm013100124000c.html>

【ヤマハ発、欧で電動アシスト自転車参入-11年度にも投入】

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0420090731beao.html>

【国内地域ニュース】

【無料貸自転車が好評 昨年利用、延べ750台 旭川観光協会（北海道）】

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/chiiki4/178975.html>

【貸し出し自転車に電動ハイブリッドも 千歳観光連盟（北海道）】

<http://www.tomamin.co.jp/2009c/c09073102.html>

【新町通りの自転車道まっすぐに（青森）】

http://www.toonippo.co.jp/news_toonippo/20090725164900.asp

【自転車：黄門様が安全を呼びかけ-青森署とヤマト運輸青森西支店 / 青森】

<http://mainichi.jp/area/aomori/news/20090722ddk02040008000c.html>

【盛岡で自転車事故多発 県全体の45%（岩手）】

http://www.iwate-np.co.jp/cgi-bin/topnews.cgi?20090727_13

【山形県でタンデム車解禁】 http://tcl.cycling.jp/blog/2009/07/blog-post_24.html

【高校生に事故現場説明 意識高揚目的に宇都宮市と県警（栃木）】

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/region/news/20090725/179991>

【前橋市 ゴミ箱撤去 / 「マイはし」使用求め / 自転車通勤手当で優遇…（群馬）】

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/gunma/news/20090803-OYT8T00024.htm>

【所沢市放置自転車対策協議会委員を募集（埼玉）】

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/kotu/iinbosuyuoko/index.html>

20～75才の市民を対象に男女計4名を募集、8/17までに作文を添えて申込が必要。

【「東京の都市づくりビジョン」を改定】

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2009/07/70j7u200.htm>

自転車に関しては第4章 P98 に○自転車利用等の促進・自転車の都市交通手段としての役割を明確にし、主要な道路の整備などに合わせ、安全で快適な自転車走行空間の充実を図るとともに、交通結節点、拠点施設等を中心とした駐輪施設の整備を進め、と記載があります。7/1に示された素案から変更なく、7/14までの意見募集期間に32通寄せられた意見は自転車関連部分もありましたが、何ら前進した回答はありませんでした。

○「素案」に対する都民意見の概要（自転車関連は P3）

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2009/07/DATA/70j7u208.pdf>

【遊歩道で自転車事故 対策へ（東京）】 <http://www.nhk.or.jp/news/k10014559081000.html#>

多摩川沿いの府中市区間に整備されている遊歩道（かぜのみち）での対策。

【東京・丸の内公共自転車、CO2削減へ実験】

<http://www.yomiuri.co.jp/economy/news/20090802-OYT1T00064.htm>

大手町丸の内有楽町地区でJTBの旅チャリシステムで行われます。

【相模原市の国道16号に自転車道（神奈川）】

<http://hiiragishuji.asablo.jp/blog/2009/07/25/4456883>

【エコで注目の自転車、交通違反の取り締まりは強化（神奈川）】

<http://www.kanaloco.jp/localnews/entry/entryivul0907683/>

【自転車で箱根観光を キャンペーン（神奈川）】

<http://sankei.jp.msn.com/region/kanto/kanagawa/090802/kng0908021836004-n1.htm>

○箱根パーク&サイクル

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/07/1914/odo/jikken08/event1.html>

【3人乗り自転車「空回り」（山梨）】

<http://www.sannichi.co.jp/local/news/2009/07/26/3.html>

【自転車利用総合計画委員 市民からも公募 新潟】

<http://sankei.jp.msn.com/region/chubu/niigata/090730/ngt0907300247000-n1.htm>

20才以上の市民を対象に男女各1名を募集、8/18までに作文を添えて申込。

<http://www.city.niigata.jp/info/dosou/jitensha/kobo.html>

【平成21年度名古屋交通安全実施計画】 <http://www.city.nagoya.jp/kurashi/anzen/anzen/koutsuanzen/keikaku/nagoya00070308.html>

【ぎふ・まちなかレンタサイクルスポンサーを募集】

<http://www.city.gifu.lg.jp/c/40126470/40126470.html>

【JR 西岐阜駅周辺地区における自転車等の駐車対策に関する総合計画の策定】

<http://www.city.gifu.lg.jp/c/40126566/40126566.html>

【電動自転車利用調査 四日市市が協力者を募集（三重）】

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/mie/news/20090725-OYT8T01022.htm>

【失業者が自転車運転違反調査 三重県警、全国初】

<http://www.chunichi.co.jp/article/national/news/CK2009073102000263.html>

【おみはちまん自転車プロジェクト（滋賀）】 <http://sigajp/cycle/>

【彦根リキシャ横浜へ 8月、お披露目行脚（滋賀）】

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20090728/CK2009072802000003.html>

【京都市 10月から自転車付置義務が変わります】

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000065961.html>

【駐輪マナー向上啓発キャンペーンに平松大阪市長がサプライズ訪問】

<http://www.city.osaka.lg.jp/yodogawa/page/0000046587.html>

【西淀川交通まちづくり意見交換会 第2回】が行われました！（大阪）

<http://aozorabs.w.exblog.jp/10737030/>

【市民協働型自転車利用適正化事業『トライアルプラン』平成20年度のとりまとめについて（大阪）】 <http://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/page/0000046279.html>

【キックオフ座談会「つるむ de 大阪～自転車であらう～」(8/22)】 http://www.bicyclemap.net/modules/newbb/viewtopic.php?topic_id=309&forum=11&post_id=441

【自転車の交通安全「作文」・「写真」コンクールについて（兵庫）】

<http://www.police.pref.hyogo.jp/topics/jitenbosyu/index.htm>

兵庫県在住で6歳未満のお子さんを2人以上の家族で自転車利用者対象の「作文」「写真」コンクール。入賞者には副賞に幼児二人同乗用自転車がプレゼント。締切りは9/10。

【温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコライ」(広島)】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdkKey=5366>

福山市では09・10年度を通じて「家庭・地域・学校」「事業者」「行政」のそれぞれが地球温暖化対策に取り組む運動を開始。自転車関連は以下のとおり。家庭・地域・学校：自転車利用（エコサイクル）の促進行政の取組：レンタサイクル利用の促進、自転車利用の意識の醸成（下記講演会はその一環で開催）○チャレンジ「健康」事業 講演会「自転車

で楽しく健康づくり～貯筋運動のすすめ～」

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdkKey=5335>

【大社でペロタクシー運行始まる（島根）】

<http://www.sanin-chuo.co.jp/news/modules/news/article.php?storyid=513835004>

【自転車・歩行者分離棚のご意見募集（徳島）】

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/road/d/bunrisaku/index.html>

国交省徳島河川国道事務所が徳島駅周辺で整備した自歩道上の柵が不評のため意見聴取

【「危険になった」不評の声 徳島駅南の自転車専用レーン】

http://www.topics.or.jp/localNews/news/2009/06/2009_124459813377.html

<http://www.skr.mlit.go.jp/tokushima/report/info20/h210206/h210206.pdf>

【シティバイク：電動自転車と車貸与で環境配慮 北九州のNPO、秋から運用 / 福岡】

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20090801ddk40040532000c.html>

【3人乗り自転車に 大分市が半額助成】 <http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/111027>

【海外各国ニュース】

【9月22日「車のない日」、一部で交通規制…ソウル（韓国）】

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20090730-00000019-yonh-kr>

昨年わが国ではおきたま・横浜・松本・名古屋・福井・高松・那覇の各都市が参加。

【韓国自転車工場新設（英文）】

<http://joongangdaily.joins.com/article/view.asp?aid=2907892>

ソウル市南部に来年前半には年10万台規模で操業予定。

【米 NY ルールを守った自転車運転を呼びかける公共広告コンテスト開催（英文）】

<http://www.streetsblog.org/2009/07/24/streetfilms-make-your-own-bike-etiquette-psa/>

○biking rules streetcode

<http://bikingrules.org/rules/streetcode>

※逆走自転車は、川をさかのぼる鮭になぞらえ“bike salmon”と呼ぶようです。

【エコ通勤者は自動車通勤者よりも健康（アメリカ）】 <http://www.transtex.jp/gf/show/948>

【米 NY 市、業務建物に自転車対応を義務付ける条例成立（英文）】 <http://www.streetsblog.org/2009/07/29/in-historic-vote-city-council-passes-bicycle-access-bill/>

○NY市の条例参照 HP

<http://legistar.council.nyc.gov/LegislationDetail.aspx?ID=452258&GUID=5FA66B86-4A0E-4BFB-B81F-028D344CC571&Search=871&Options=ID|Text>

【米ポートランド バイクシェア参入検討5社、近く市民がテスト利用（英文）】

<http://bikeportland.org/2009/07/29/portland-bike-sharing-update-vendors-confirmed-for-demonstration-event/>

【米議会、高速道路信託基金（Highway Trust Fund）に70億ドルの一般財源注入法案を可決（英文）】 <http://t4america.org/blog/2009/07/30/whats-the-impact-of-the-highway-trust-fund-patch-or-an-extension-of-the-current-bill/>

9月までの資金繰り対策として可決。SAFETEA-LUの取扱いはまだ定まらず。

【米アイダホ州のローリングストップルールをポートランドの自転車愛好家は導入を切望するが議会審議は難航（英文）】 <http://bikeportland.org/2009/04/16/time-running-out-on-btas-idaho-stop-law-effort/>

○アイダホ州のローリングストップルール解説

<http://www.streetsblog.org/2009/04/16/the-physics-and-the-ethics-of-the-rolling-stop/>

通行車両・横断歩行者がいなければ、停止標識交差点でも徐行通行が可能。

【米ハワイオアフ島のバインクルプラン草案公開される（英文）】

<http://www.kitv.com/traffic/20220016/detail.html>

○O'ahu Bike Plan(DRAFT)<http://www.oahubikeplan.org/index.html>

【米 NY 自転車タクシーの基準定まる（英文）】

http://www.nypost.com/seven/07302009/news/regionalnews/council_approves_pedi_cure_182055.htm